



LCD モニター

ユーザー ガイド

プログラミングモニター | RD シリーズ

著作権

Copyright © 2026 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

BenQ ちらつき防止技術は、モニターのちらつきの主な原因を消去し、DC 調光による安定したバックライトを提供することで、目に優しい環境を実現します。フリッカー フリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。（フリッカー フリー モデルのみが該当します。）

製品サポート

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版および、ホーム他の製品情報はホームページでご覧いただけます。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
 - ユーザーマニュアルおよび関連ドキュメント
 - ドライバとアプリケーション
 - (EU のみ) 解体について：ユーザーマニュアルのダウンロードページからご覧いただけます。本書は 規定 (EU) 2019/2021 に基づき本機を修理またはリサイクルするために提供されています。保証期間内の補修については、必ずお住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。保証外の製品の補修を希望される方は、互換性を確保するために専門のサービススタッフにお問合せになり、BenQ からパーツを取り寄せるようお勧めします。お客様ご自身で解体する場合は、お客様ご自身の責任において行ってください。本機の解体に関する情報が見つからない場合は、お住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。

ファームウェアのアップグレード

本製品を最高の状態でご利用いただくためには、最新のファームウェアバージョン（リリースされている場合）にアップグレードして、最新のユーザーマニュアルをご参照いただくようお勧めします。

モニターをアップグレードするには、BenQ のホームページから **Display QuickKit** ソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > モデル名 > **Software & Driver**（ソフトウェアとドライバ）> **Display QuickKit**（モニターに互換性がある場合のみ）
- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > **Display QuickKit**（地域によって異なります）

モニターが起動すると、自動的に互換性がチェックされます。

詳細は、ソフトウェアのユーザーマニュアルをお読みください。

モニターが **Display QuickKit** と互換性がなく、ファームウェアの新しいバージョンがリリースされているかどうか分からない場合は、BenQ カスタマーサービスにお問い合わせください。

最新ソフトウェア

本製品に内蔵されたテクノロジーや機能に加え、製品の機能性を高めるためにさらに追加のソフトウェアアプリケーションもご用意してあります。指示に従って、BenQ ホームページからソフトウェアと使用説明書をダウンロードしてください。

• Display Pilot 2

Display Pilot 2 は、ディスプレイを正確に調整してあなたにぴったりのモニター構成を簡単に保存し、使用できるようにするソフトウェアユーティリティです。すべての要素はソフトウェアで調整できますので、モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) を使用する必要がありません。

EPREL 登録番号：
RD270Q：2490196

Q&A インデックス

知りたいトピックを選択してください。

セットアップ

モニターを設定して電源を入れるには？

安全のために	6
モニターハードウェアの組み立て（スタンド付きのモデル）	21
モニターの角度調節	27

モニターの角度を調整するには？

表示角度の調整	28
---------	----

モニターを壁面に取り付けるには？

モニター壁面取り付けキットの使用方法（別売り）	29
-------------------------	----

効率を高める便利なツール

ディスプレイ設定を効率よく管理するには？

Display Pilot 2	3
-----------------	---

コーディングキーおよびファンクションキーを使ってコーディングの生産性を高めるには？

ファンクションキーのカスタマイズ	32
クイックメニューで作業をする	33

眼精疲労を軽減する機能

非常に暗い環境でスクリーンの輝度を最小化するには？

夜間プロテクションで作業をする	34
-----------------	----

スクリーンの輝度を正しく設定するには？

スクリーンの輝度と色温度を自動的に調整する (Visual Optimizer)	34
--	----

ディスプレイから照射されるブルーライトを軽減するには？

ブルーライト軽減で作業をする	34
----------------	----

メニューとアクセサリ

頻繁に使う機能やメニューのホットキーを設定できますか？

ファンクションキーのカスタマイズ	32
クイックメニューで作業をする	33

OSD メニューの使い方

5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作	31
メインメニューのナビゲート	39

メンテナンスと製品サポート

モニターのお手入れ方法

お手入れと清掃	8
LCD スクリーンのお手入れ	11

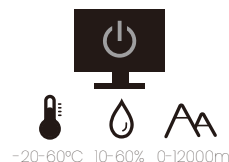
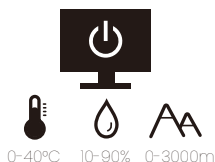
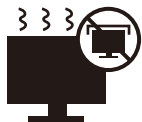
モニターを長期間使用しないときの保管方法	
スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）	26
お手入れと清掃	8
続けてサポートが必要な場合	
製品サポート	3
保守	9

安全のために

電源についての安全対策



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。



- ・付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
- ・付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
- ・機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続して使用してください。
- ・アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。破損したり、磨耗したりしている電源コードは絶対にご使用にならないでください。
- ・（リモコンが付いている場合）指定された電池以外は使用しないでください。（液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。）使用済みの電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。
- ・モニターの故障の原因となりますので、電源供給が安定しない場所でのご使用はお止めください。
- ・接地されたコンセントに電源コードを接続してからモニターの電源を入れてください。
- ・複数の差込口が付いた延長コードをご使用になる場合は、合計の電気負荷量にご注意ください。
- ・電源コードを外す前に必ずモニターの電源を切ってください。

アダプタ付きのモデル：

- ・本 LCD モニターに付属の電源アダプタだけをご使用ください。別のタイプの電源アダプタをご使用になると、故障の原因となり大変危険です。
- ・機器を操作したり、バッテリーを充電したりするためにアダプタを使用するときには、十分な通気を確保してください。電源アダプタを紙やその他の物で覆わないでください。キャリーケースに入れたままで電源アダプタをご使用にならないでください。
- ・電気アダプタを適切な電源に接続します。
- ・電源アダプタをお客様ご自身で補修することはお止めください。内部に補修可能なパーツは含まれていません。故障したり、濡れたりした場合には、本体を交換してください。

装着

- ・次のような場所ではモニターをご使用にならないでください。
 - ・気温が極度に高いまたは低い、あるいは直射日光が当たる場所
 - ・ホコリが立ちやすい場所
 - ・湿度が高い場所、雨に濡れやすい場所、水場の近く
 - ・自動車、バス、電車、その他の乗り物の中など、振動や衝撃を受けやすい場所

- ・ラジエーター、ヒーター、石油ストーブ、あるいは発熱源の近く（オーディオのアンプを含みます）などの加熱装置の近く
- ・適切な通気がない密閉された場所（クローゼットや本棚）
- ・不安定な場所、あるいは斜面
- ・化学物質や煙のあたる場所
- ・モニターの持ち運びには十分注意してください。
- ・モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- ・お子様がモニターにぶら下がったり、上ったりしないようにしてください。
- ・梱包材料はお子様の手の届かない場所に保管してください。

操作

- ・視力を保護するために、ユーザーガイドをお読みになり最適なスクリーン解像度と表示距離に設定してください。
- ・目の疲労を縮減するために、モニターをご使用になるときには定期的に休憩を取ってください。
- ・長時間次のような行為はしないでください。焼けた痕が残る場合があります。
 - ・小さすぎてスクリーン全体に表示されない画像を再生します。
 - ・スクリーンに静止画を配置します。
- ・モニターにキズが付きますので、モニターパネルに直接指で触れたり、ペンや先が尖ったモノで触れたりしないでください。
- ・ビデオコネクタを頻繁に接続したり、取り外したりすることを繰り返すと、モニターの故障の原因となります。
- ・このモニターは主に個人使用を対象として設計されています。このモニターを公共の場や苛酷な環境でご使用になる場合は、お近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。
- ・電気ショックの原因となりますので、お客様ご自身でモニターを解体したり、修理したりしないでください。
- ・モニターから異臭がしたり、異常なノイズが聞こえたりした場合は、直ちにお近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。

注意

- ・モニターとの距離は、画面の対角線幅の 2.5 倍から 3 倍を目安にしてください。
- ・長時間スクリーンを見つめたまましていると、眼精疲労を生じさせ視力が低下する場合があります。1 時間作業を行うごとに 5～10 分間目を休めてください。
- ・遠くにある物を見つめることで、目の疲れを軽減できます。
- ・頻繁に瞬きをしたり、目の体操をするとドライアイを防止することができます。

リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）

- ・リモコンを直接熱源や高湿度の場所に置いたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ・リモコンを落とさないでください。
- ・リモコンを水や液体に濡らさないでください。そうしなければ、故障の原因となります。

- ・リモコンと製品のリモート センサーの間に物を置かないでください。
- ・リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを外してください。

バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）

間違ったタイプのバッテリーをご使用になると、化学物質が漏れ出したり、爆発したりする恐れがあります。次の点に注意してください。

- ・バッテリーは必ず極性に注意して、正しい方向に挿入してください。
- ・バッテリーは種類によって異なる特性を持っています。異なる種類のバッテリーを混ぜて使用しないでください。
- ・古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用しないでください。古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用すると、バッテリーの寿命が短くなったり、古いバッテリーから液体が漏れ出したりする場合があります。
- ・バッテリーが破損している場合は、直ちに新しいものに交換してください。
- ・バッテリーから漏れ出した液体が肌に付着すると、皮膚に炎症を起こす場合があります。バッテリーから化学物質が漏れ出した場合は、すぐに乾いた布でふき取り、できるだけ早くバッテリーを交換してください。
- ・保管状況が異なるため、製品に挿入されているバッテリーの寿命が短くなっている場合があります。最初の使用から3カ月以内、あるいはできるだけ早く交換してください。
- ・古いバッテリーの処理、またはリサイクルについては、お住まい地域の規定に従ってください。お近くの行政機関、または廃棄物回収業者にお尋ねください。

付属のリモコンにボタン電池が入っている場合は、次の点にご注意ください。

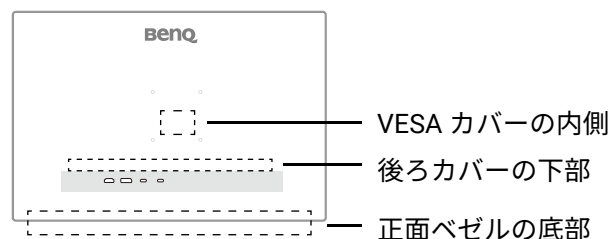
- ・電池を飲み込まないようにご注意ください。化学物質により火傷をする危険性があります。
- ・本機に付属するリモコンにはボタン電池が入っています。ボタン電池を飲み込んでしまった場合は、2時間で内臓が火傷をする危険性があり、死に至ることもあります。
- ・未使用、使用済みに関わらず電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない時には、製品のご使用を中止し、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・電池を飲み込んでしまったと思われる場合、または体内に入り込んでしまったと思われる場合は、直ちに病院へ行き医師の診察を受けてください。

お手入れと清掃

- ・床の上、または机の上に直接モニターを下向きに置かないでください。そうしなければ、パネル面にキズがつく恐れがあります。
- ・機器を操作する前に、建物構造にしっかりと固定されていなければなりません。
- ・（壁および天井取り付けに対応するモデル）
 - ・モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
 - ・壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。
 - ・ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。
- ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニターの電源コードをはずしてください。モニターのお手入れ方法は、[11 ページの「LCD スクリーンのお手入れ」](#)を参照してください。

- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニターは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。
- モデル名、電力定格、製造日、バーコード、シリアル番号、ID 表示については、製品ラベルをご覧ください。ラベルの貼付位置はモデルにより異なります。ラベルの位置は下図でご確認ください。

通常の貼付位置：



保守

- 本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。
- 電源コード、接続ケーブル、リモコン、電源アダプタの交換については、BenQ カスタマーサービスにお問い合わせください。
- 購入店にお問い合わせになるか、[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。



Support.BenQ.com

保証内容

次のいずれかの状況では、モニターの保証は無効となりますのでご注意ください。

- 保証に必要なドキュメントが許可されない使用により改ざんされた場合、または判読できない場合。
- 製品に記載されているモデル番号または製品番号が改ざん、削除、はがされた、あるいは判読できない場合。
- 許可されないサービス組織または人物により補修、変更、あるいは改変された場合。
- モニターを不適切な状態で保管したことに起因する破損（直射日光、水、火に当てた場合を含みますが、これらに限りません）。
- モニター以外の外部信号（アンテナ、ケーブル TV など）が原因で生じる受信問題。
- モニターの誤使用または濫用による故障。
- このモニターを対象販売エリア外でご使用になる場合は、ご使用になる前にモニターがその地域の技術規格に合っていることを確認してからご使用ください。そうしなければ製品が故障する場合があります、その場合の補修はお客様でご負担いただくことになります。

- ・製品出荷時に提供されていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。
- ・電気ショックや火災などの危険性がありますので、アクセサリ類（電源ケーブルなど）は装置に付帯されていたものだけをご使用ください。

表記

アイコン / 記号	アイテム	意味
	警告	誤用や不適切な操作、または行いによって生じるコンポーネントやデータへのダメージ、またはケガなどを防止するための情報です。
	ヒント	タスクを完了するための便利な情報です。
	注意	補足的情報です。

本書では、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例：**メニュー** > **システム** > **情報**。

LCD スクリーンのお手入れ



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

モニターパネルには特殊なアンチグレアコーティングが施されています。モニターは丁寧にお使いになり、お手入れの際も十分にご注意ください。

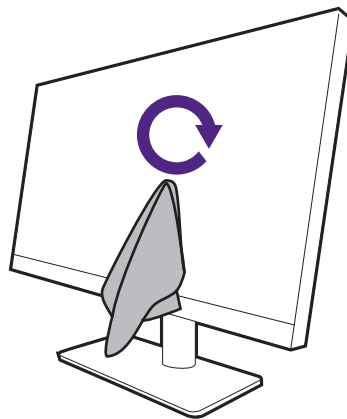
- ・モニタースクリーンに汚れが付着すると目立ちます。モニターを使用したり、お手入れをしたりする際は、スクリーンに油や汚れが付着しないように注意してください。
- ・正しく使用した結果付着した指紋や汚れは、マイクロファイバー クロスで拭くことができます。
- ・スクリーンの表面を優しく丁寧に拭いてください。強くこするとスクリーンのコーティングが剥がれる場合があります。

スクリーン表面の正しいお手入れは、次の手順に従ってください。

お手入れ用マイクロファイバー クロスの使い方 * (推奨)

モニタースクリーンのお手入れには、お手入れ用マイクロファイバー クロスをお使いになることをお勧めします。これは再利用や洗濯が可能で、液体も不要なことから環境に優しいデザインとなっています。

1. お手入れを行う前に、必ずコンセントからモニターの電源コードを外してください。
2. スクリーンを傷つけないように、お手入れ用クロスに尖った突起物が付着していないか確認してください。
3. モニターの端を持ち、スクリーンに圧力をかけ過ぎないようにご注意ください。
4. お手入れ用クロスは清潔で乾いた状態でお使いください。クロスのきれいな部分で汚れた部分を円を描くように優しく拭いてください。それでも汚れが落ちない場合は、手油が広がらないように注意しながらクロスのきれいな部分で拭き続けてください。クロスの両面が汚れてしまったら、クロスをきれいに洗って乾かしてください。

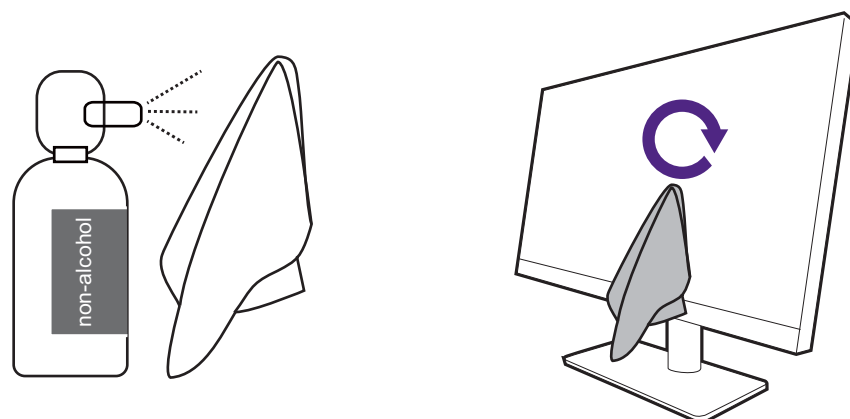


・*: ヘッドフォンジャックの位置はモデルによって変わります。パッケージ内容については、[15 ページの「はじめに」](#)を参照してください。

・スクリーンの表面にクロスの端が模様になって残らないように、クロスの端でスクリーンを拭かないでください。

5. 必要であれば、アルコールフリーのスクリーンクリーナーをほんの数滴お手入れ用クロスに落として、汚れた部分を円を描くように優しく拭いてください。詳細は、[12 ページの「スクリーンクリーナーの使い方」](#)を参照してください。

6. クロスのきれいな部分でスクリーンを拭いて乾かしてください。それでも汚れが落ちない場合は、手油が広がらないように注意しながらクロスのきれいな部分で続けて拭いてください。スクリーンがきれいになるまでこの手順を続けてください。



7. クロスは数回ご使用になると汚れてしまい、スクリーンのお手入れができなくなります。洗剤で洗い、必要であればクロスに付着したゴミを手で取ってください。涼しい場所で乾燥させてください。完全に乾燥してからお使いください。

スクリーンクリーナーの使い方

- 湿り気のあるアルコール成分を含まないスクリーンお手入れ用のワイパーをお使いください。油分や指紋を簡単に除去できます。
- アルコール成分を含まないスクリーンクリーナーキットをお使いください。スクリーンクリーナーキットに含まれるマイクロファイバークロスにスプレーしてスクリーンの汚れを拭きます。スクリーンに直接スプレーすることはお止めください。
- スクリーンとスクリーンの枠の隙間に液体が入らないようにご注意ください。モニター内部に液体が入ると、ショートする恐れがあります。



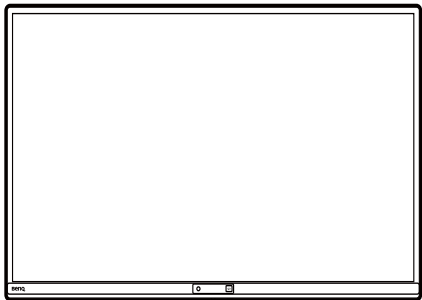
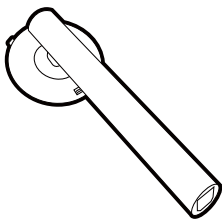
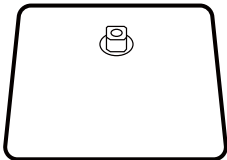
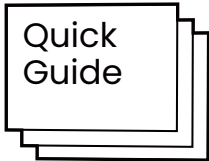
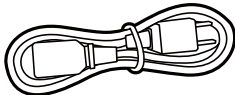
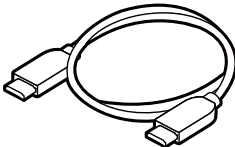
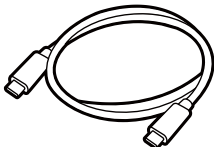
目次

著作権	2
製品サポート	3
ファームウェアのアップグレード	3
最新ソフトウェア	3
Q&A インデックス	4
安全のために	6
電源についての安全対策	6
装着	6
操作	7
注意	7
リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）	7
バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）	8
お手入れと清掃	8
保守	9
保証内容	9
LCD スクリーンのお手入れ	11
お手入れ用マイクロファイバー クロスの使い方*（推奨）	11
スクリーンクリーナーの使い方	12
はじめに	15
モニターの外観	17
前面ビュー	17
背面ビュー	18
接続	19
モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー	20
モニターハードウェアの組み立て（スタンド付きのモデル）	21
スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）	26
モニターの角度調節	27
モニターの高さ調節	27
モニターの回転	27
表示角度の調整	28
モニター壁面取り付けキットの使用法（別売り）	29
モニターの調整	30
ファンクションバー	30
5ウェイ コントローラと基本メニュー操作	31
ファンクションキーのカスタマイズ	32
クイックメニューで作業をする	33
夜間プロテクションで作業をする	34
ブルーライト軽減で作業をする	34

スクリーンの輝度と色温度を自動的に調整する (Visual Optimizer)	34
カラーユニバーサルモードを有効にする (Color Weakness、カラーユニバーサル モード)	35
画面モードの調整	35
適切なカラーモードの選択	35
各カラーモードで選択可能なメニューオプション	36
接続した機器に USB-C™ ポートを介して充電する	38
メインメニューのナビゲート	39
入力メニュー	40
Eye Care メニュー	41
カラーモードメニュー	43
オーディオメニュー	46
カスタムメニュー	47
システムメニュー	49
トラブルシューティング	54
よくある質問 (FAQ)	54
それでも解決できないときは.....	57

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニター	
モニター スタンド (スタンド付きのモデル)	
モニターベース (スタンド付きのモデル)	
ユーザードキュメント ・クイック スタート ガイド ・安全にお使いいただくために ・準拠法規	
電源コード (付属アイテムはモデルや地域により異なります。)	
ビデオケーブル：HDMI	
USB ケーブル：USB-C™	
スクリーン用お手入れクロス (付属アイテムはモデルや地域により異なります。)	



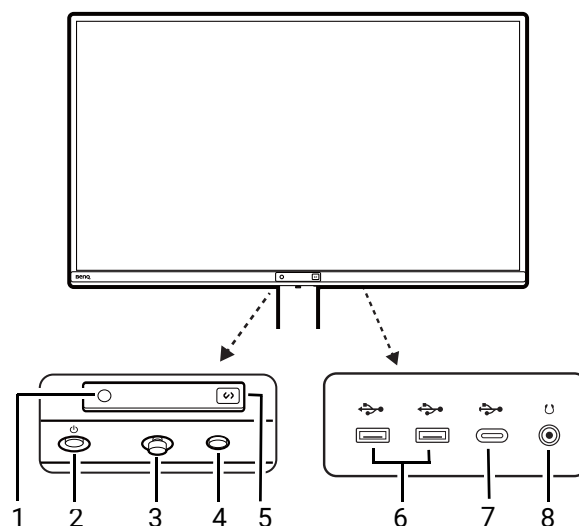
-
- ・アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。また、パッケージの内容は将来予告なく変更される場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。
 - ・モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニターを保護するのに適しています。
 - ・アクセサリやケーブル等は、製品によって付属または別売りになる場合があります。



製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

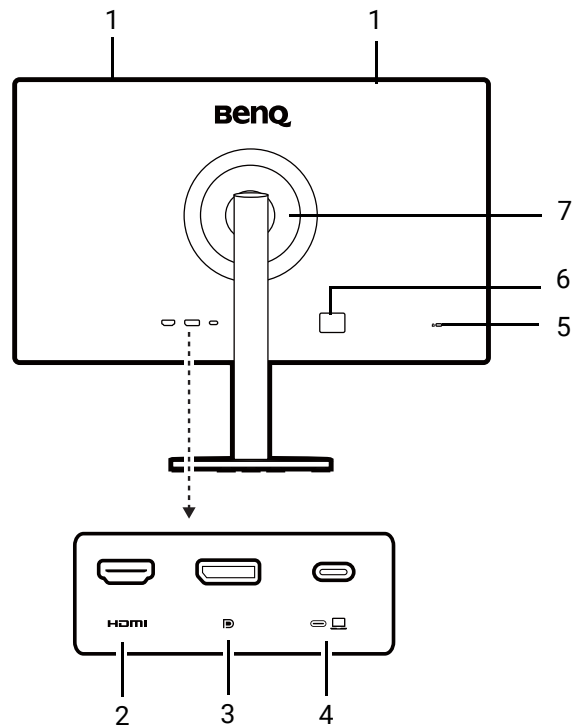
モニターの外観

前面ビュー



1. ライトセンサー
2. 電源ボタンおよび電源 LED インジケータ
3. 5 ウェイ コントローラ
4. ファンクションキー
5. コーディングキー
6. USB-A ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
7. USB-C ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
8. ヘッドフォンジャック

背面ビュー



1. スピーカー
2. HDMI ソケット
3. DisplayPort ソケット
4. USB-C™ ポート（ビデオデータ転送および最大給電 65 W）
5. Kensington ロックスロット
6. AC 電源入力ジャック
7. VESA マウント

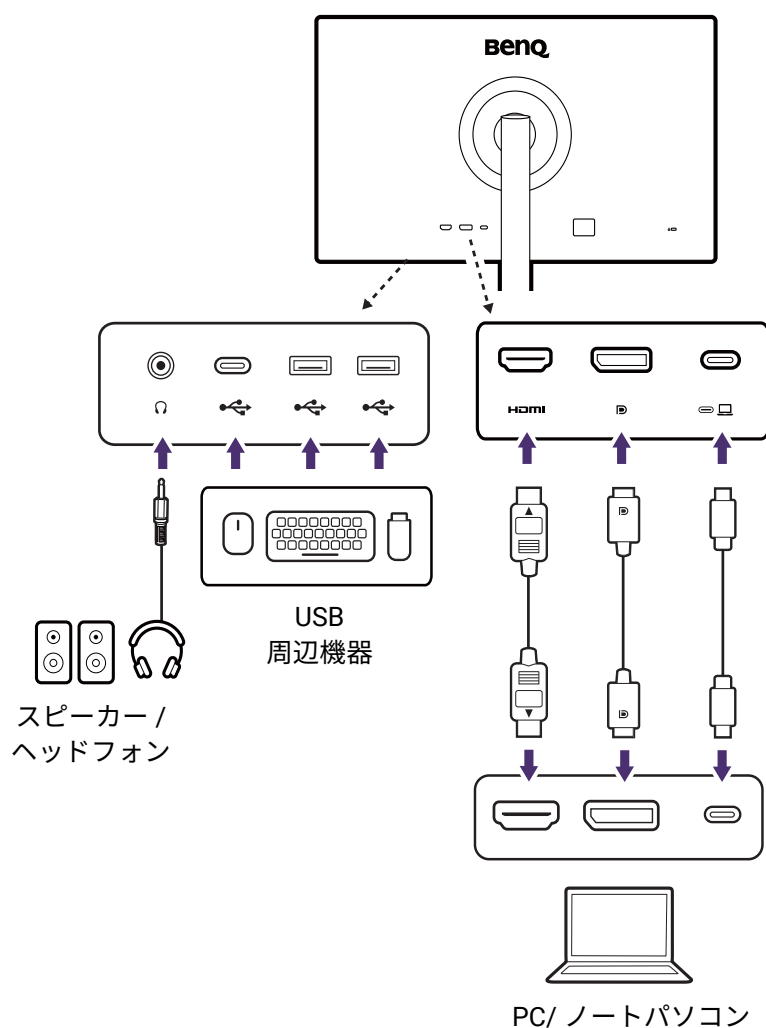


- 製品仕様により、対応する解像度とタイミングは異なります。
- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。
- （白いケースの製品が対象）この製品のケースは、光による光酸化反応により、3 年程度で黄色く変色する場合があります。これは正常な現象であり、製造上の欠陥ではありません。
- USB-C™ ポートのパワーデリバリーについての詳細は、[20 ページの「モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー」](#)を参照してください。

接続

次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

接続方法についての詳細は、[23 - 24](#) ページをお読みください。



USB-C™ テクノロジーの制限により、USB 転送速度は選択したリフレッシュレートによってのみ決定されます。詳細は、[51 ページの「USB-C 構成」](#)を参照してください。

モニターの USB-C™ ポートのパワーデリバリー

パワーデリバリー機能を使用すると、モニターは接続した USB-C™ デバイスに電力を供給することができます。

USB-C™ 65W ()	USB-C™ 7.5W ()
5V/3A	5V/1.5A
9V/3A	非表示
12V/3A	非表示
15V/3A	非表示
20V/3.25A	非表示

- 接続したデバイスには、USB パワーデリバリーによる充電機能に対応した USB-C™ コネクタが搭載されていなければなりません。
- モニターが省エネモードのときにも、接続したデバイスに USB-C™ ポートから充電することができます。(*)
- USB のパワーデリバリーは最大で 65W です。接続したデバイスが操作やブートアップに 65W 以上を必要とする場合は（電池が切れているとき）、正規の電源アダプタをお使いください。
- 情報は標準の試験条件に基づき参照用として提供しております。ご使用環境に違いがあるため、互換性を保証するものではありません。別途購入した USB-C™ ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証の電力供給およびビデオ / オーディオ / データ転送機能が付いたケーブルであるかご確認ください。



*：USB-C 復帰および電源オン充電機能の両方を有効にすると、モニターが省エネモード中に USB-C™ で充電することができます。システム > スタンバイ充電 / 電源オン充電を開き、オンを選択してください。

モニターハードウェアの組み立て（スタンド付きのモデル）



・モニターベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行って下さい。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

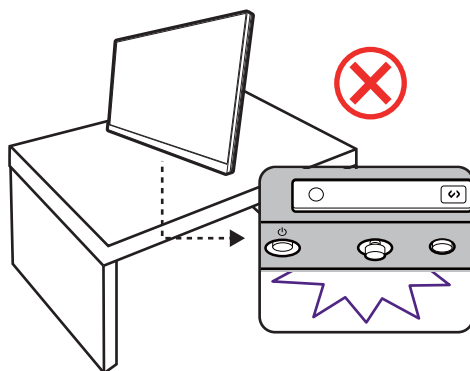
・次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。



スクリーンの表面を指で強く押さないでください。



スタンドアームとベースを取り付けない状態では、机の上や床の上にモニターを立てないでください。正面ベゼルの下部にあるコントロールは、モニターの重量を支えるように設計されておりませんので破損の原因となります。



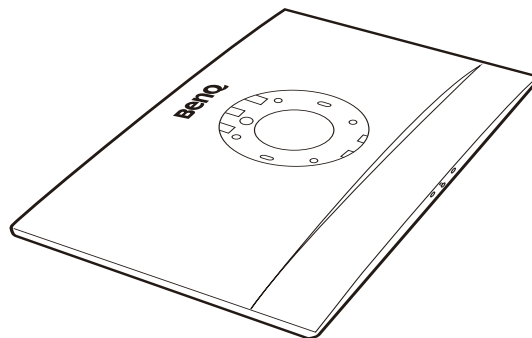
1. モニターベースを設置します。



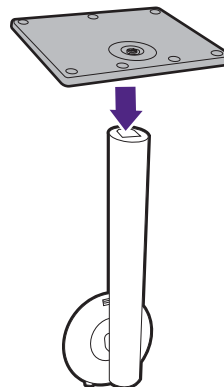
物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

モニターのお手入れは、モニターとスクリーンを保護するために安定した平らな場所で行い、衝撃防止用にモニターの梱包袋などの柔らかい素材を置いてください。

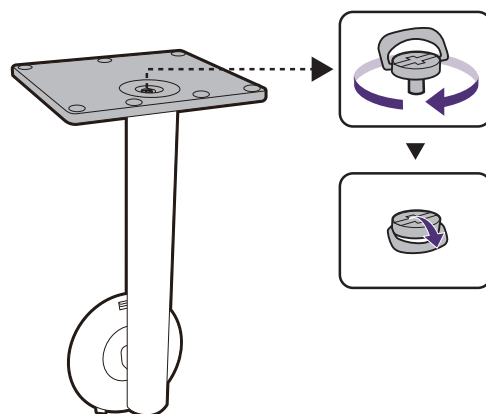
スクリーンを上向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所にゆっくりと寝かせてください。



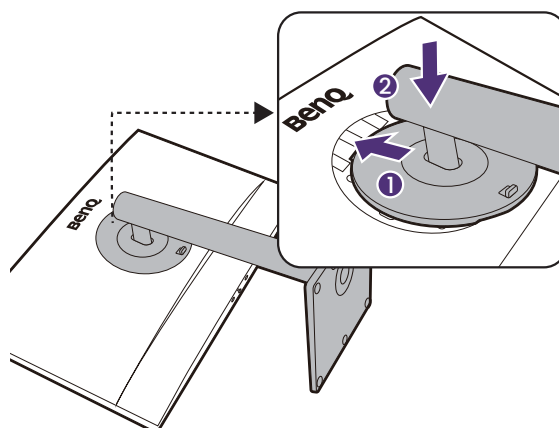
図に示す通り、モニターベースにモニタースタンドを取り付けます。



図に示すとおり、モニターベースの底面にある蝶ネジを締めてください。

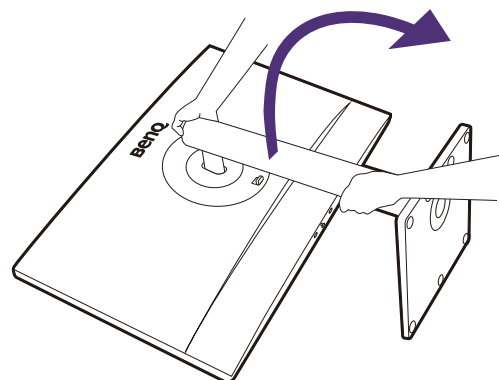


しっかりと固定されるとカチッという音がします。
スタンドアームとモニターの向きを合わせて(①)、
カチッという音がしてロックされるまで押し込んで
ください(②)。



モニターを箱から取り出すときには、スタンドアームをお持ちください。ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。

本製品は重量があるため、安全に作業を行うために
2人以上で作業を行ってください。



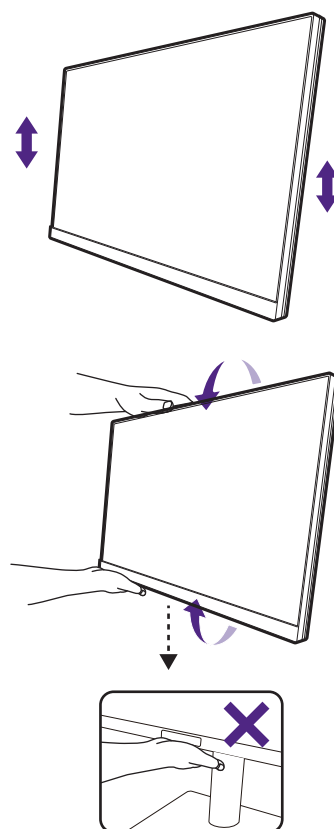
モニタースタンドの高さを調整したい場合は、27 ページの「モニターの角度調節」を参照してください。



ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面やファンクションバーエリアを強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニターの上部と下部に手を置いてください。



照明の反射を最小限に留めるために、モニターの位置とスクリーンの角度を調整してください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。

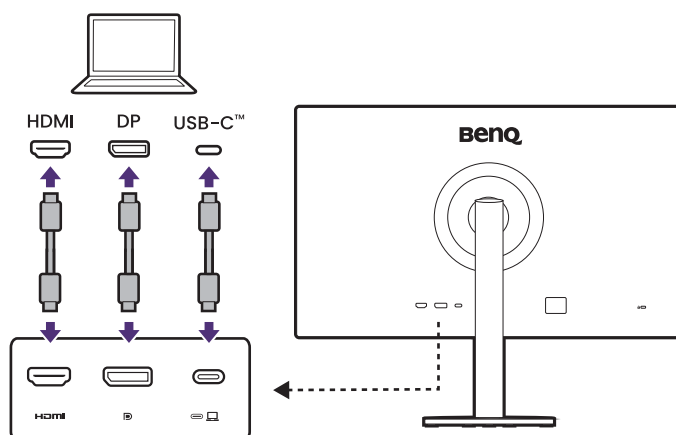


製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、お住まいの地域で販売される製品によって異なる場合があります。



簡単に接続できるように、固定機能のない DP ケーブルをお使いください。

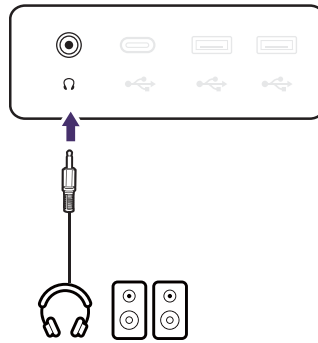
1. ビデオケーブルを接続します。図に示すように、HDMI/DP/USB-C™ ケーブルを使ってモニターをビデオソースに接続します。



2. もう片方のビデオケーブルをデジタル出力装置（コンピュータなど）のポートに接続します。

3. ヘッドフォンを接続します。

フロントベゼルの右下部のヘッドホンジャックに、ヘッドフォンを接続することができます。



4. USB デバイスを接続します。

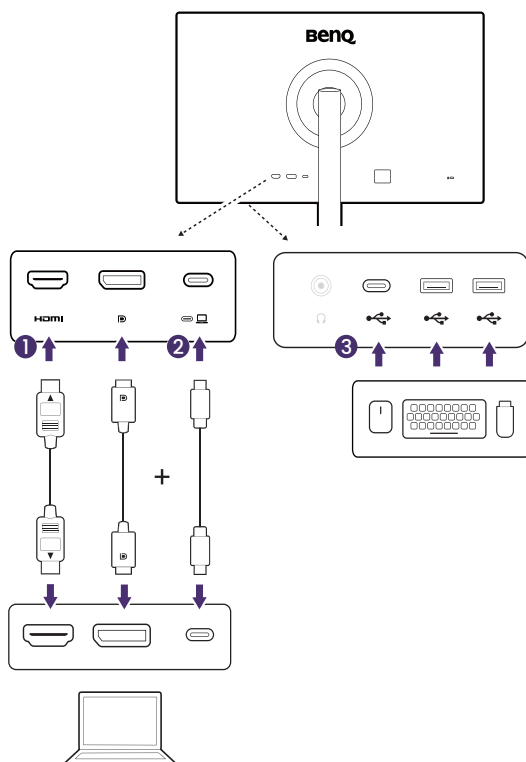
ビデオ入力が HDMI/DP のとき

1. 入力源を HDMI または DP で接続します。
2. USB ケーブルで PC とモニターを接続します（モニター背面にある USB-C™ データ アップストリームポートを使用）。このアップストリームポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイスの間でデータを通信します。
3. モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。

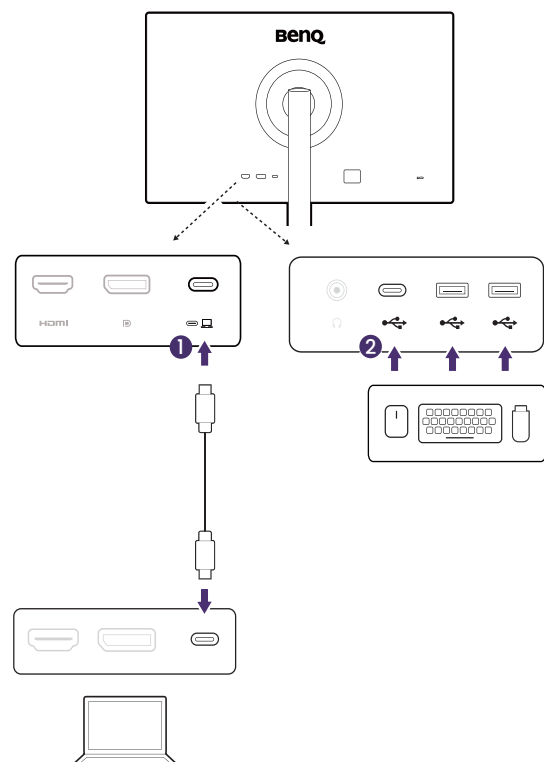
ビデオ入力が USB-C™ のとき

1. ビデオ入力を USB-C™ ビデオポート (≡ □) に接続します。
2. モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。

HDMI/DP によるビデオ入力



USB-C™ によるビデオ入力

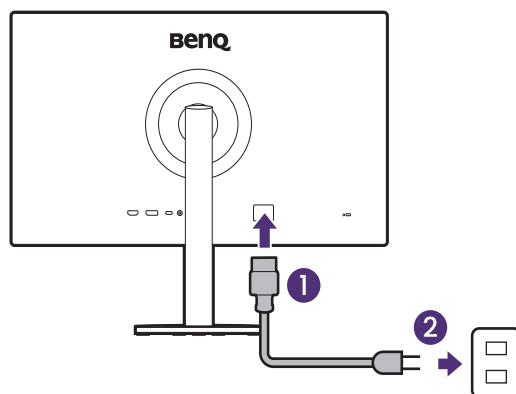


5. 電源ケーブルを接続します。

1. モニターの背面の  と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



地域によって製品図が異なる場合があります。



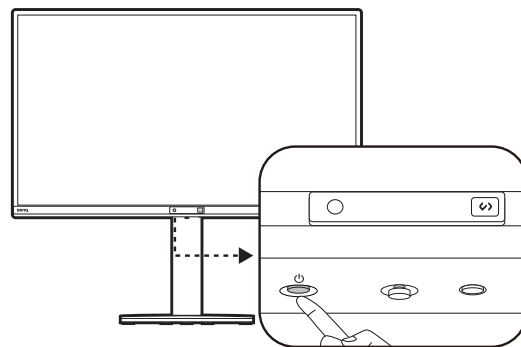
6. 電源を入れます。

モニターの電源ボタンを押して、モニターをオンにします。

コンピュータもオンにします。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

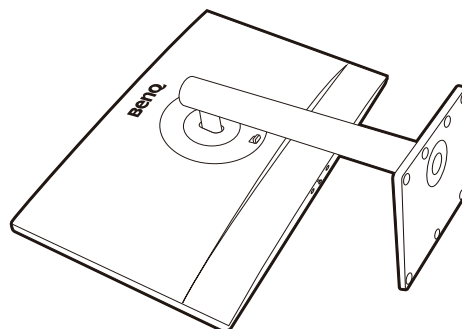


スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）

1. モニターと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニターの電源を切ります。モニター信号ケーブルを外す前にコンピュータの電源も切ります。

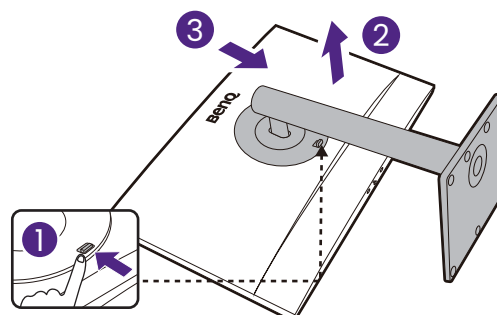
ベースを取り外す際モニターとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。



物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがあると傷や破損の原因になります。

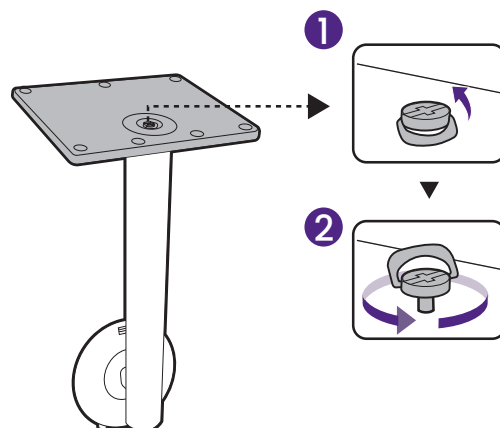
2. モニタースタンドを外します。

クイックリリース ボタン (①) を押すと、モニターが外れます。モニターからスタンドを外します (② および ③)。

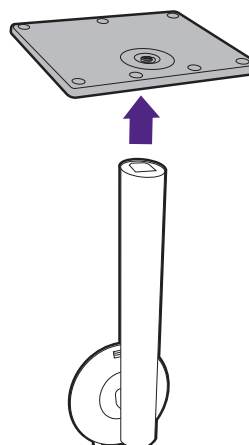


3. モニターのベースを外します。

モニターベースの底部にある蝶ネジを緩めます。



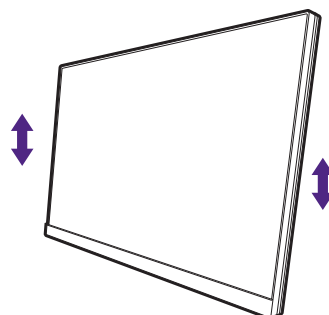
スタンドからベースを外します。



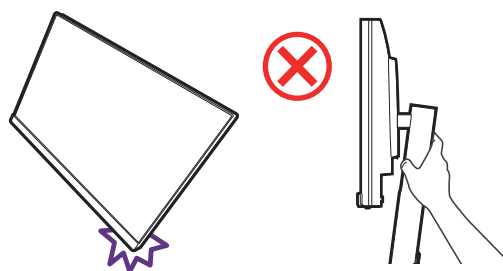
モニターの角度調節

モニターの高さ調節

モニターの高さを調整するには、モニターの左右両側を持ち、モニターを下げたり、好きな高さに引き上げます。



・高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニターの底面に手を添えると、モニターを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置に手を添えないでください。この作業を行う場合は、お子様をモニターに近付けないでください。



・モニターがポートレートモードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニターを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。

モニターの回転

1. OSD メニューを回転させます。

システム > OSD 設定 > ピボットを選択し、希望の向き（90° または 270°）を選択します。

2. ディスプレイを回転させます。

モニターを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。

デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから画面の解像度を選択します。方向でポートレートを選択し、設定を適用します。



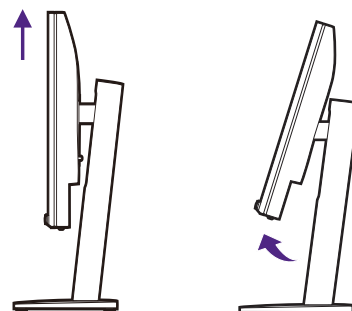
PC のオペレーティングシステムによって、スクリーンの方向を調整する手順が異なります。詳しくは、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントを参照してください。

3. モニターを最高の高さまで上げ、傾斜させます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次にモニターを傾けます。



モニターを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニターが縦方向に伸びるはずですが。



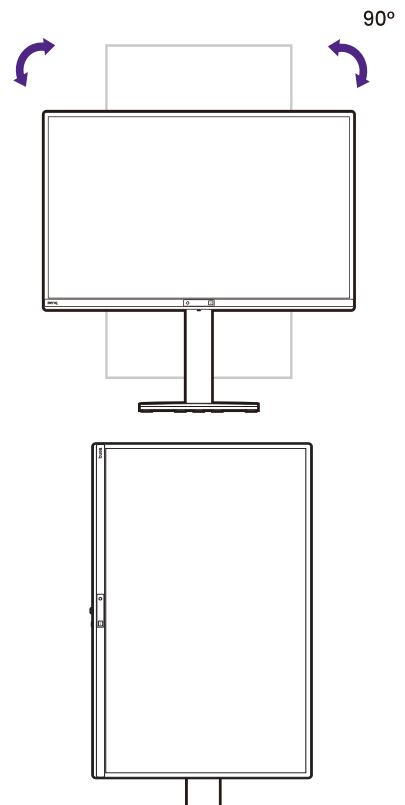
4. モニターの回転

回転角度：

右 / 左回りに 90 度



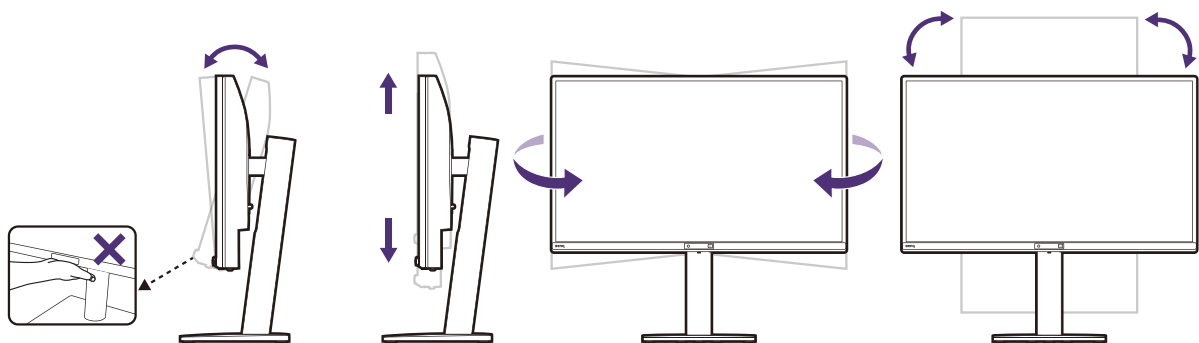
- ・回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニターを最高の高さまで引き上げてください。モニターの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。モニターベースに設置したものの、接続した USB 周辺機器、ケーブル類を取り除きます。



5. モニターを適切な角度に調整します。

表示角度の調整

上下、左右、高さを調整して、モニターを見やすい角度に合わせてください。製品の仕様については、ホームページをご覧ください。



モニター壁面取り付けキットの使用法（別売り）

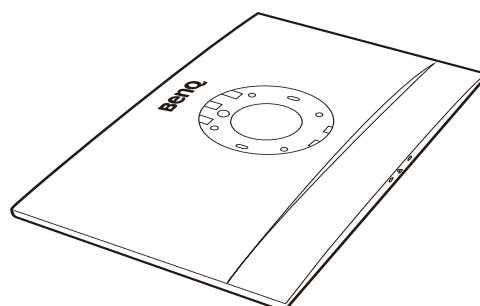
LCD モニターの背面には 100 mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使って壁面取り付け用ブラケットを設置することができます。モニター壁面取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の素材と標準の壁面取り付け用ブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。重量については、ホームページで仕様書をご覧ください。
- ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。

1. モニタースタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。26 ページの「スタンドの取り外し（スタンド付きのモデル）」に示す図を参考に、モニタースタンドを外します。

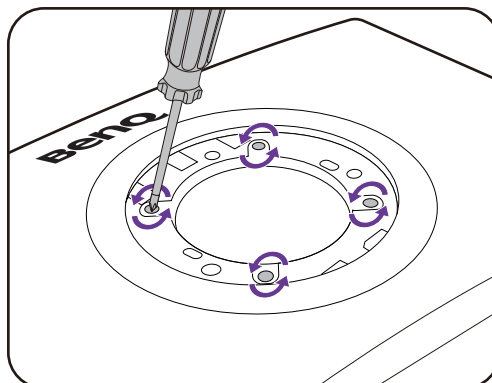


2. 後ろカバーのネジを外します。

プラスドライバを使って、後ろカバーのネジを緩めてください。ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。



将来モニタースタンドを使用する可能性がある場合は、モニターベース、スタンド、ネジは安全な場所に保管しておいてください。



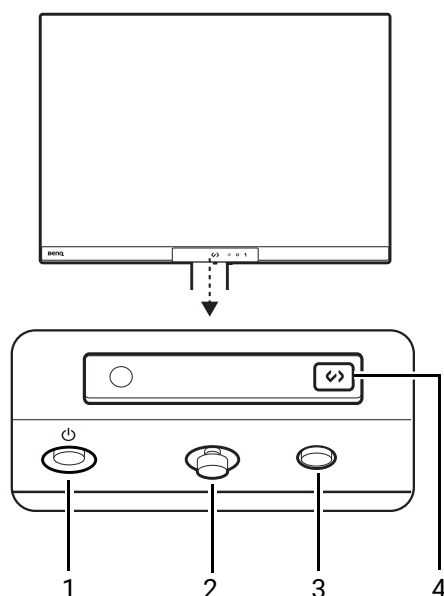
3. 購入された壁面取り付け用ブラケットの説明書を読み、モニターを正しく設置してください。



4 個の M4 x 10 mm ネジを使って、モニターを VESA 標準壁面取り付けブラケットに取り付けます。すべてのネジがきつく、しっかりと締められているか確認してください。壁面取り付けおよび安全のための注意については、専門の技術者、または BenQ サポートセンターにお問い合わせください。

モニターの調整

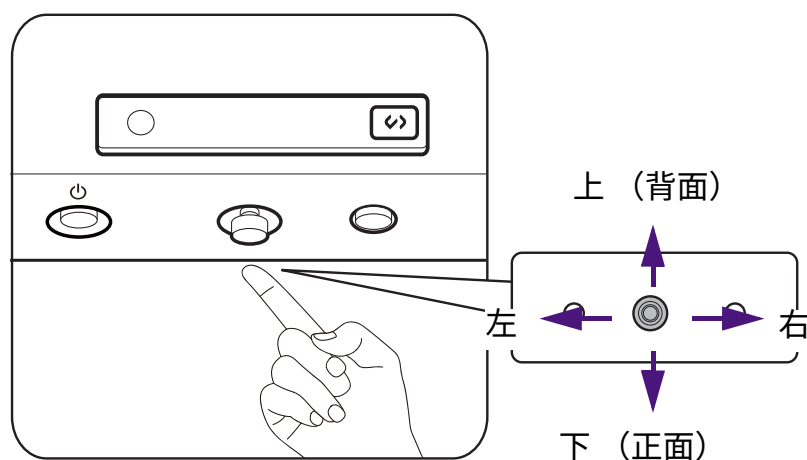
ファンクションバー



番号	名前	説明
1.	電源キー & 電源キー LED	電源をオン / オフします。 ・電源がオンの間は、電源キー LED が点灯します。 ・システム > ファンクションバー > 電源キー LED を選択して LED の動作を調整します。
2.	5 ウェイ コントローラ	画面にアイコンで表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。詳細は、 31 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」 を参照してください。
3.	ファンクションキー	・デフォルトでは、このキーは 入力 のホットキーです。 ・カスタム > ファンクションキーを選択して、ファンクションキーの設定メニューを開きます。詳細は、 32 ページの「ファンクションキーのカスタマイズ」 を参照してください。
4.	コーディングキー	・コーディングを行うために別のカラーモードにトグルします。 ・カスタム > コーディングキーを選択し、コーディングキーの設定メニューを開きます。詳細は、 33 ページの「クイックメニューで作業をする」 を参照してください。

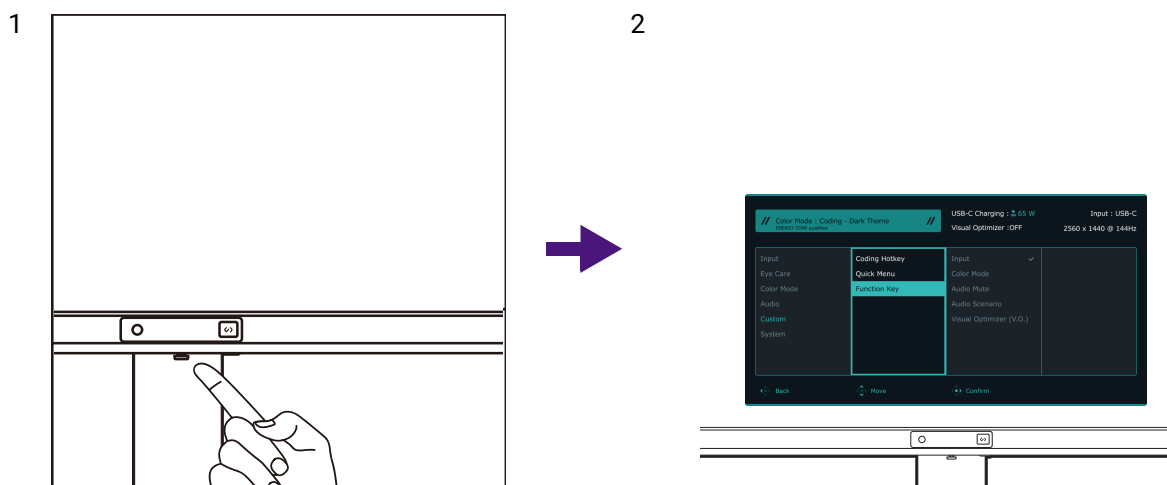
5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作

5 ウェイ コントローラはフロントベゼルの下部分にあります。モニターの前に座り、画面のアイコンが示す方向にコントローラを動かしてメニューをナビゲートしたり操作したりします。



OSD アイコン	5 ウェイ コントローラの操作	機能
(メニューが有効でないとき)		
非表示	5 ウェイ コントローラを押す	メインメニューを表示します。
(メニューが有効になっているとき)		
	押す	選択肢を確定します。
	右に移動	- サブメニューが開きます。 - 選択肢を確定します。
	上に移動	- 前のメニュー アイテムに戻ります。 - 上 / 設定を上げます。
	下に移動	- 次のメニュー アイテムに戻ります。 - 下 / 設定を下げます。
	左に移動	- 前のメニューに戻ります。 - OSD を終了します。

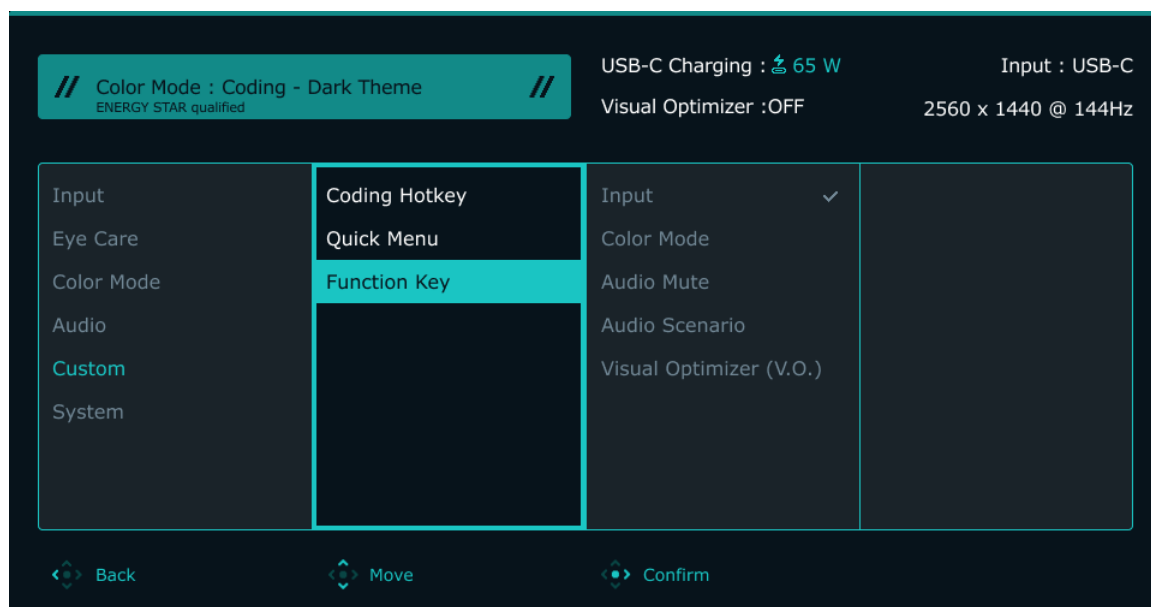
すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニターの設定はすべて OSD で行うことができます。選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。



1. を押すとメインメニューが開きます。
2. メインメニューでメニューの下の方にあるオンスクリーンアイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、[39 ページの「メインメニューのナビゲート」](#)を参照してください。

ファンクションキーのカスタマイズ

1. **メニュー > カスタム > ファンクションキー**を選択して、ファンクションキーの設定メニューを開きます。
2. サブメニューでこのキーに割り当てたい機能を選択します。設定が完了すると、メッセージが表示されます。

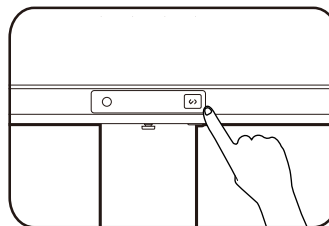


クイックメニューで作業をする

クイックメニューは別のカラーモードに簡単にアクセスしてコーディングを行い、頻繁に調整するモニター設定を変更することができます。

1. クイックメニューが開きます。

◀▶ (コーディングキー) を押します。

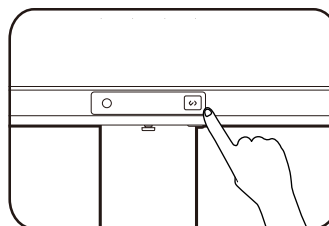


2. 異なるコーディングモードを順番に切り替えます。

次のオプションのいずれかをお使いください。

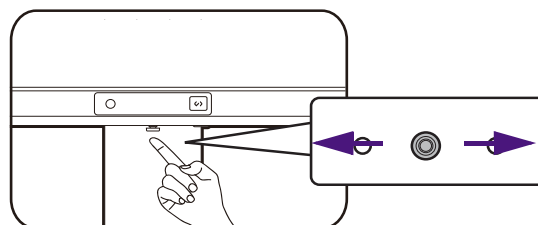
a. ◀▶ (コーディングキー) を再度押します。

a.



b. ◀◀ / ▶▶ を押します。

b.



コーディングモードのオプション：

- コーディング - 暗いテーマ
- コーディング - 明るいテーマ
- コーディング - カラー紙
- 最後に選択したカラーモード

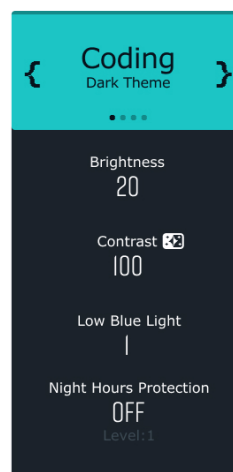
3. カラーモード設定の調整をします。

◀◀ / ▶▶ を押して別の設定オプションにアクセスします。

◀◀ / ▶▶ を押して調整します。



夜間プロテクション設定がグレイ表示されている場合は、[57 ページの「夜間プロテクションがクイックメニューでグレイ表示される」](#)を参照してください。



コーディングキーオプションのカスタマイズ

1. ◀◀ を押すとメインメニューが開きます。

2. カスタム > コーディングキーを選択します。

3. サブメニューでクイックメニューからアクセスできる3つのカラーモードオプションを選択します。



クイックメニューのデフォルトのカラーモード オプション：

- コーディング - 暗いテーマ
- コーディング - 明るいテーマ
- コーディング - カラー紙
- 最後に選択したカラーモード

選択できるオプションについては、[47 ページの「コーディングキー」](#)を参照してください。

クイックメニューオプションのカスタマイズ

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **カスタム > クイックメニュー**を選択します。
3. サブメニューでクイックメニューからアクセスできる 2 から 4 個のオプションを選択します。選択できるオプションについては、[48 ページの「クイックメニュー」](#)を参照してください。

夜間プロテクションで作業をする

夜間プロテクションは最低輝度技術により、目を保護してくれます。インテリジェントな環境光検出技術と自動切替機能により、簡単に安定したアイケアを実現できます。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > 夜間プロテクション**を選択します。
3. **切り替え**で**オン**または**自動切換**を選択します。**自動切換**のために、モニターは環境光の状態に応じてこの機能を有効または無効にします。
4. **レベル**でフィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。

ブルーライト軽減で作業をする



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

ブルーライト軽減により、ディスプレイから発せられるブルーライトを減少させ、目への負担を軽減することができます。

カラーモードに関係なく、お好みでブルーライトを軽減することができます。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > ブルーライト軽減**を選択します。
3. **ブルーライト軽減**機能の値を 0 から 5 の範囲で設定します。値を上げるほど効果が強くなります。

スクリーンの輝度と色温度を自動的に調整する (Visual Optimizer)



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

内蔵された照明センサーは Visual Optimizer (V.O.) テクノロジーと併せて機能し、環境照明に応じてスクリーン設定を自動的に調整します。輝度のみ、または輝度と色温度の両方を自動的に調整します。これにより、モニター使用中に眼精疲労を軽減するために、画像の鮮明さと快適な表示を確認することができます。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > Visual Optimizer (V.O.)** を選択します。
3. **切り替えでオン**を選択します。本製品は、環境照明に応じて輝度と色温度（**輝度と色温度**）の両方を自動的に調整します。輝度のみを自動調整したい場合は、**Visual Optimizer (V.O.)** から**モード**を選択し、**輝度**に切り替えます。
4. モニター周辺の照明状況をスクリーンに表示するには、**光量メーター**を選択した後で**オン**を選択します。



Visual Optimizer (V.O.) の性能は、光源とモニターの傾斜角度によって変わります。お好みでもう一度手動で輝度を調整したい場合は、**メニュー > Eye Care > Visual Optimizer (V.O.)** を選択します。詳細は、[42 ページの「Visual Optimizer \(V.O.\)」](#)を参照してください。

カラーユニバーサルモードを有効にする（**Color Weakness、カラーユニバーサルモード**）



この機能は、特定のピクチャモード（カラーモード）でのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。

Color Weakness（カラーユニバーサルモード） モードは、色覚に障がいのある方が容易に色を識別できるようにするものです。本機には**赤フィルタ**および**緑フィルタ**があります。必要なフィルタを選択してください。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **Eye Care > Color Weakness（カラーユニバーサルモード）** を選択します。
3. **赤フィルタ**または**緑フィルタ**を選択します。
フィルタの値を調整します。値を上げるほど効果が強くなります。

画面モードの調整

ネイティブではない縦横比やディスプレイサイズで画像を表示するには、モニターでディスプレイモードを調整します。

1. を押すとメインメニューが開きます。
2. **システム > 画面モード**を選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。変更した設定は直ちに反映されます。

適切なカラーモードの選択

このモニターには、さまざまな画像タイプに合ったカラーモードがいくつか用意されています。カラーモードの種類については、[43 ページの「カラーモードメニュー」](#)を参照してください。

カラーモードを開き**カラーモード**を選択します。

各カラーモードで選択可能なメニューオプション

設定したカラーモードに応じて、それぞれの色調整のために選択できるオプションは変わります。選択可能なオプションも入力毎に変わるため、このリストは参照用としてお使いください。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。

カラーモード オプション	コーディ ング - 暗 いテーマ	コーディ ング - 明るい テーマ	コーディ ング - カ ラー紙	M-book	シネマ	ゲーム	HDR	ePaper	sRGB	ユーザー
輝度 / Visual Optimizer (V.O.)	V	V	V	V	V	V	X	V	X	V
輝度と色温度 / Visual Optimizer (V.O.)	V	V	V	V	V	V	X	V	X	V
輝度 / 輝度 (V.O. オン)	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
コントラスト	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
ローカルコントラスト	V	V	V	V	V	V	X	V	X	V
シャープネス	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
彩度	V	V	V	X	X	X	X	X	X	V
ガンマ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	V
色温度 / 標準 / 薄青 / 薄赤	V	V	V	V	X	X	X	X	X	V
色温度 / ユーザー設定 / R/G/B	V	V	V	V	X	X	X	X	X	V
Color Weakness (カラーユニバーサルモード)	V	V	V	X	V	V	X	X	X	V
ブルーライト軽減	V	V	V	V	V	V	X	V	X	V
夜間プロテクション	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V



・V：利用可能。

・X：利用不可。

調整可能な OSD 設定

一部の設定（例：OSD 言語）は、他のモニター設定や入力に関係なく変更され、すぐに有効になります。ただし、多くの OSD 設定は、カラーモードに合わせて調整して保存することが可能です。カラーモードを選択すると、希望する設定が適用されます。

項目	説明
輝度 / 輝度 (V.O. オン)	カラーモード切替で保存され、適用されます。
コントラスト	
ローカルコントラスト	
シャープネス	
彩度	
ガンマ	
色温度	
夜間プロテクション	
ブルーライト軽減	
Visual Optimizer (V.O.)	
Color Weakness (カラーユニバーサルモード)	

接続した機器に USB-C™ ポートを介して充電する

モニター背面の USB-C™ ポートは、スタンバイモードでの給電に対応していますが、デフォルトでは無効になっています。USB-C™ ポート経由のビデオソースが検出された場合、モニターのスタンバイモードで USB-C™ パワーデリバリー機能を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。**はい**を選択して続行します。

システムの USB-C 復帰がオンになっている場合は、通知なしで給電が開始されます。

USB-C™ ポートの最大電力供給量は、ポートごとに異なります。機器を正しく充電するためには、まず機器の充電仕様を確認し、適切な USB-C™ ポートが接続されていることを確認してください。

アイコン	給電
	65W
	7.5W

Mac シリーズ製品で作業をする

Mac シリーズ製品にモニターを接続することができます。互換性は、お使いの Mac 製品に搭載されている Mac チップの性能と仕様に依存し、予告なく更新されることがありますのでご注意ください。

- モニターと Mac 製品を接続する場合は、Thunderbolt 3 または USB-C™ ケーブル（Mac とモニターの両方で利用可能な場合）で直接接続すると高画質の映像を投影することができます。詳細は、[23 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#)を参照してください。
- 色の違いを少なくするために、モニターのピクチャーモード（カラーモード）を **M-book**、**Display P3**、**DCI-P3** モード（利用可能な場合）に設定することをお勧めします。詳細は、[43 ページの「カラーモードメニュー」](#)を参照してください。
- お使いのモニターが特定の BenQ ソフトウェアに対応している場合は、www.BenQ.com のソフトウェアウェブページで、お使いの Mac 製品で動作するかどうかを確認してください。

Mac 製品との互換性についてのお問い合わせは、Support.BenQ.com にアクセスして、**FAQ** または**知識**から関連するトピックを探してください。

メインメニューのナビゲート

モニターの設定はすべて OSD (On Screen Display) で行うことができます。◀▶を押すとメインメニューが開きます。詳細は、[31 ページの「5 ウェイ コントローラと基本メニュー操作」](#)を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



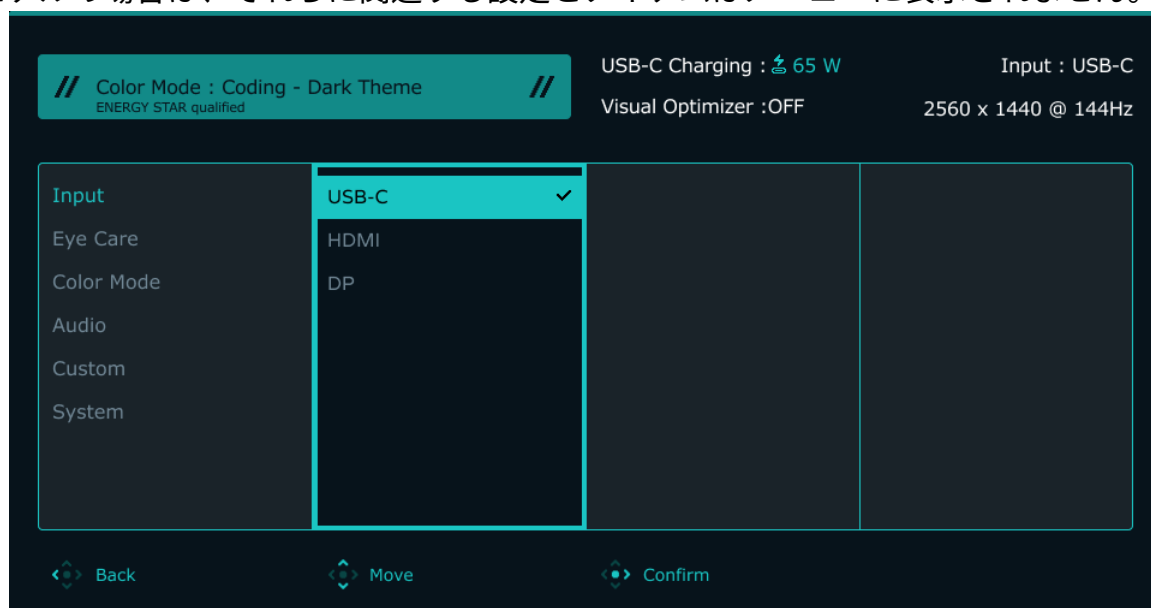
OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、**システムと OSD 設定**の [50 ページの「言語」](#)を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [40 ページの「入力メニュー」](#)
- [41 ページの「Eye Care メニュー」](#)
- [43 ページの「カラーモードメニュー」](#)
- [46 ページの「オーディオメニュー」](#)
- [47 ページの「カスタムメニュー」](#)
- [49 ページの「システムメニュー」](#)

入力メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

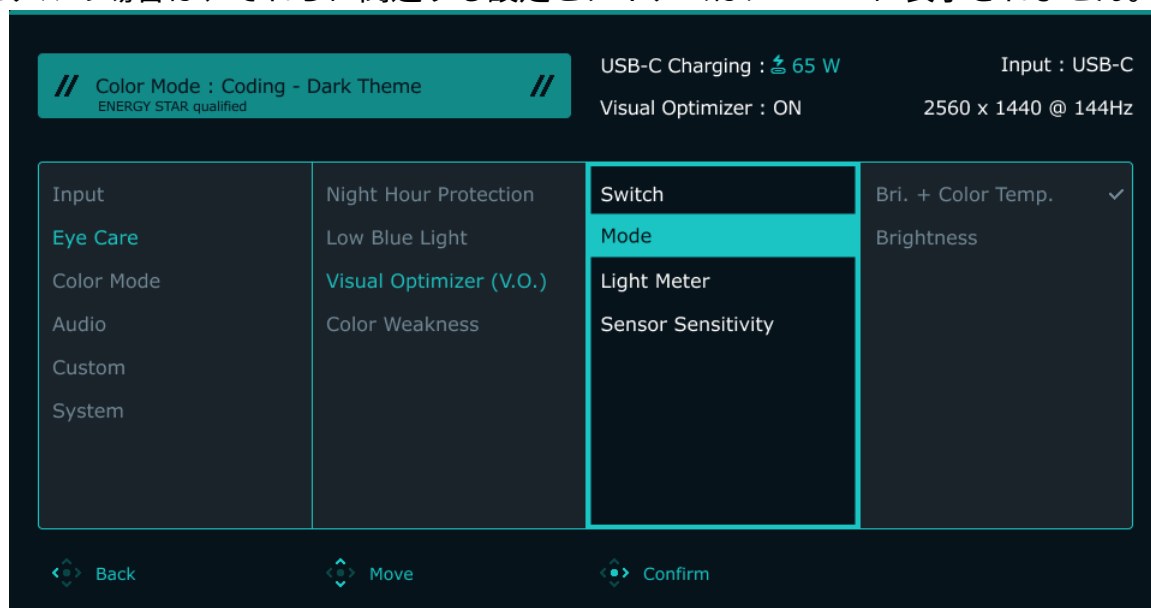


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**入力**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

項目	機能	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	・ USB-C ・ HDMI ・ DP

Eye Care メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



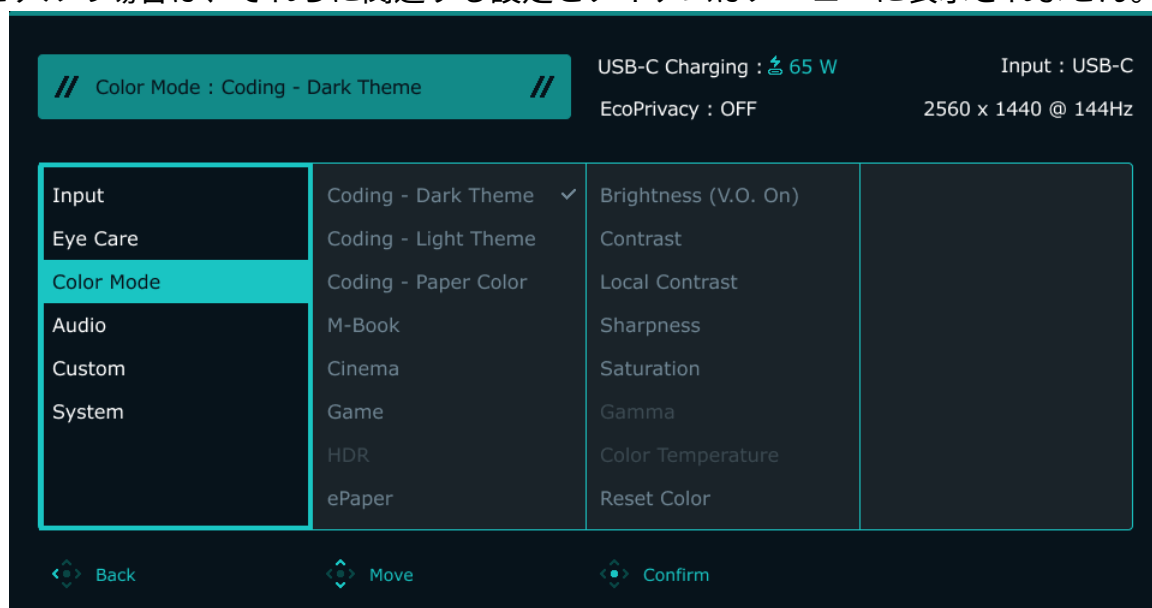
1. ◀▶を押すとメインメニューが開きます。
2. ◀▶または◀▶を使って **Eye Care** を選択します。
3. ◀▶を選択してサブメニューを開き、◀▶または◀▶を使ってメニューアイテムを選択します。
4. ◀▶または◀▶を使用して調整を行うか、◀▶を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、◀▶を選択します。
6. メニューを終了するには、◀▶を選択します。

項目	機能		範囲
夜間プロテクション	非常に暗い環境において、目を保護するためにスクリーンの輝度を最小化します。 詳細は、 34 ページの「夜間プロテクションで作業をする」 を参照してください。		
	切り替え	非常に暗い環境においては、この機能をオンにするかどうかを質問するメッセージが表示されます。	・自動切換 ・オン ・オフ
	レベル	値を上げるほど効果が強くなります。	1 ~ 10
ブルーライト軽減	目にブルーライトがあまり当たらないように、ディスプレイのブルーライトを軽減します。 詳細は、 34 ページの「ブルーライト軽減で作業をする」 を参照してください。		0 ~ 5

項目	機能		範囲
Visual Optimizer (V.O.)	画像を最高の状態で鮮明に、快適に見られるように、環境照明に応じてスクリーンの輝度と色温度を自動的に調整します。 詳細は、 34 ページの「スクリーンの輝度と色温度を自動的に調整する (Visual Optimizer)」 を参照してください。		
	切り替え	オンとオフを切り替えます。	・オン ・オフ
	モード	輝度、または輝度と色温度の両方を自動的に調整します。	・輝度と色温度 ・輝度
	光量メーター	モニター画面にスクリーン周辺の照明状況を表示します。	・オン ・オフ
	感度センサー	内蔵センサーの感度を調整します。	0 ~ 10
Color Weakness (カラーユニバーサルモード)	色覚に障がいのある方が容易に色を識別できるように、カラーマッチを調整します。		
	赤フィルタ	赤フィルタが再現する効果を定義します。値を上げるほど効果が強くなります。	0 ~ 10
	緑フィルタ	緑フィルタが再現する効果を定義します。値を上げるほど効果が強くなります。	0 ~ 10

カラーモードメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**カラーモード**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

項目	機能
コーディング - 暗いテーマ	暗いテーマでのコーディング環境 (IDE) 向けです。
コーディング - 明るいテーマ	明るいテーマでのコーディング環境 (IDE) 向けです。
コーディング - カラー紙	すべての IDE テーマのコーディング環境 (IDEs) に対応しています。 コーディング - カラー紙 は、紙のようなディスプレイ効果で目に優しく、読みやすく、コードレビューにも快適です。
M-book	モニターと接続した MacBook シリーズの視覚的差異を最小化します。
シネマ	動画を見るときに使用します。画像の鮮明さや色の鮮やかさを高めるために、コントラストと彩度を向上させます。
ゲーム	ビデオゲーム用です。

項目	機能
HDR	High Dynamic Range (HDR) テクノロジーで最高のカラーマッチングを実現します。
ePaper	画面の輝度と見やすい文字が特徴のモノクロの電子書籍やドキュメントを読むためのモードです。
sRGB	プリンター、デジタルカメラなどの周辺機器とのカラーマッチングを実現します。
ユーザー	ユーザー定義による画像設定の組み合わせを適用します。

各カラーモードにカスタマイズする

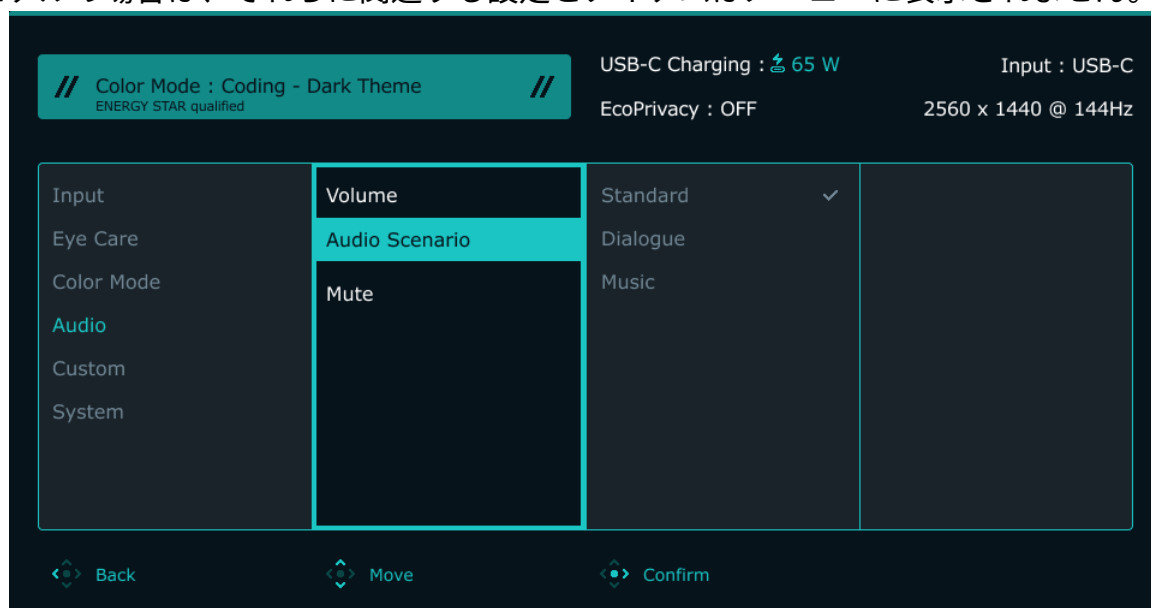
異なるカラーモードではカラー設定をさらに詳しく設定することができます。カラーモード毎に選択可能なオプションは変わります。

項目	機能	範囲
輝度 / 輝度 (V.O. オン)	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。  Visual Optimizer (V.O.) がオフのとき、ディスプレイには本来の輝度調整が表示されます。V.O. がオンのとき、ディスプレイは V.O. 輝度調整された状態になります。	0 から 100
コントラスト	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。	0 から 100
ローカルコントラスト	異なるコーディング環境であっても、詳細を最適な状態で表示できるリアルタイム コントラスト自動調整技術により、暗いシーンでもさらに鮮明で美しいコントラストが実現します。	・オン ・オフ
シャープネス	被写体の鮮明さを調整します。	1 から 10
彩度	色の純度を調整します。	0 から 10
ガンマ	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は 3 (Windows の標準値) です。	・1 ・2 ・3 ・4 ・5

項目	機能		範囲
色温度	標準	ビデオや静止画を自然な色で表示させます。これは工場出荷時の標準値になっています。	
	薄青	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	薄赤	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	ユーザー設定	赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。次に R (赤)、 G (緑)、 B (青) メニューに進み、設定を変更します。 この値を下げると画像の各色が変わります。(たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。)	• R (0~100) • G (0~100) • B (0~100)
色のリセット	カスタム設定色をデフォルト値に戻します。		• はい • いいえ

オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

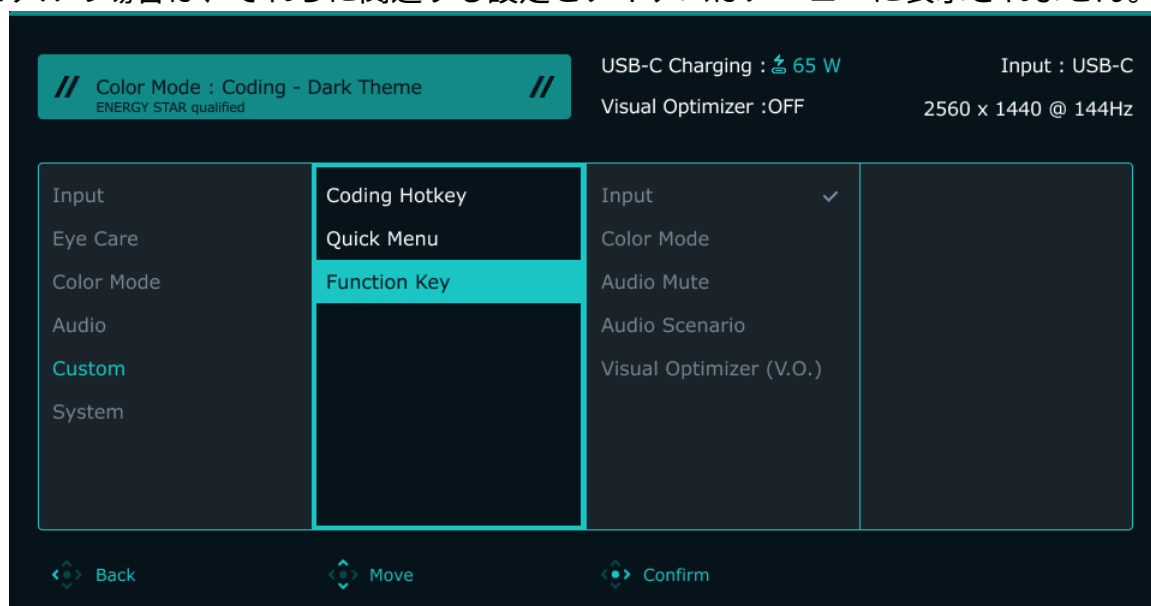


1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**オーディオ**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

項目	機能		範囲
音量調整	音量を調整します。		0 ~ 50
音声シナリオ	特定の環境に最も合ったオーディオ効果を実現するイコライザを選択します。		
	標準	特定の状況を考慮せずに使用する場合、すべての設定がバランス良く調整されます。	
	ダイアログ	ノイズを除去して音の明瞭さを高めます。	
	音楽	音楽とボーカルのハーモニーを最適に保ちます。	
ミュート	音量をオン / オフにします。		・ オン ・ オフ

カスタムメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



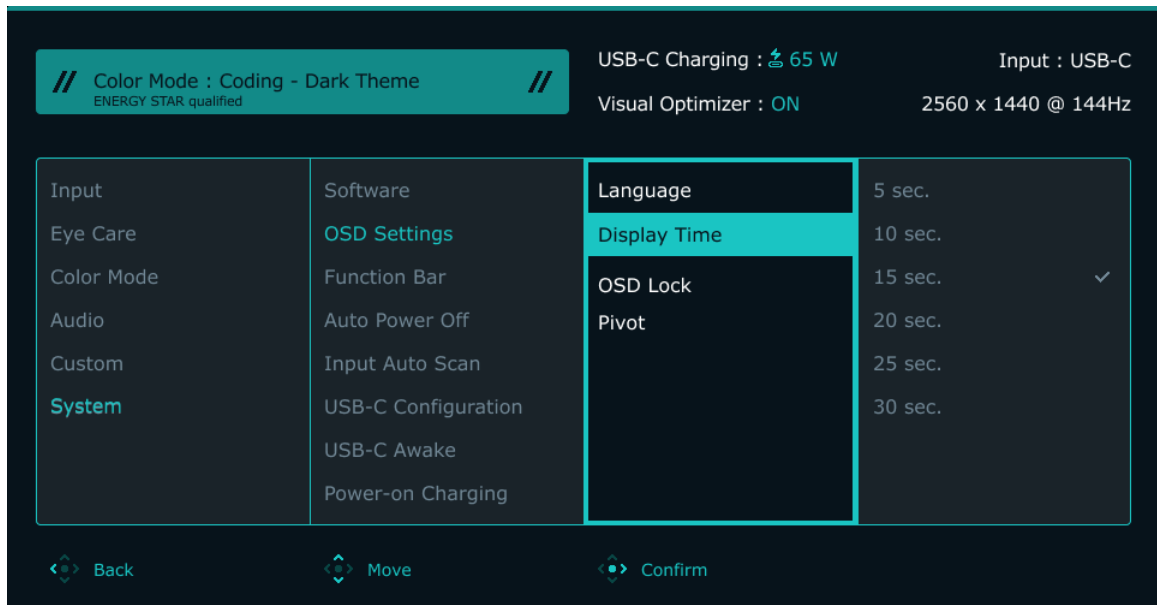
1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**カスタム**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。メニューを終了するには、終了キーを押します。

項目	機能	範囲
コーディングキー	コーディングキーを切り替えるために、3つのカラーモードをオプションとして選択できます。 HDR オプションはご使用いただけません。	・コーディング - 暗いテーマ ・コーディング - 明るいテーマ ・コーディング - カラー紙 ・M-book ・シネマ ・ゲーム ・HDR ・ePaper ・sRGB ・ユーザー

項目	機能	範囲
クイックメニュー	クイックメニューでアクセスできる機能を設定します。このキーでアクセスできるオプションを2個から4個の範囲で選択します。	・輝度 / 輝度 (V.O. オン) ・コントラスト ・シャープネス ・ブルーライト 軽減 ・夜間プロテクション
ファンクションキー	ファンクションキーでアクセスできる機能を設定します。	・入力 ・カラーモード ・ミュート ・音声シナリオ ・Visual Optimizer (V.O.)

システムメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. を押すとメインメニューが開きます。
2. または を使って**システム**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使用して調整を行うか、 を使用して選択します。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

項目	機能	範囲
ソフトウェア	Display Pilot 2 の QR コードを表示します。ソフトウェアのダウンロードページにクイックアクセスするためにスキャンします。	

項目	機能		範囲
OSD 設定	言語	OSD メニューの言語を選択します。  本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	• English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • Český • Magyar • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português • 日本語 • 繁體中文 • 简体中文 • العربية • 한국어 • Українська • Български • Ελληνικά
	表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。	• 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒
	OSD ロック	モニター設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。  OSD コントロールをロック解除するには、いずれかのキーを 5 秒間押し続けてください。	
	ピボット	OSD メニューの方向をモニターの実際の方向に合わせて設定します。	• 90° • 270° • オフ

項目	機能	範囲
ファンクションバー	ファンクションバーで LED インジケータを調整します。	
	電源キー LED	・オン ・オフ
自動電源オフ	省電力モードで、モニターが自動的にオフになるまでの時間を設定します。	・10 分 ・20 分 ・30 分 ・オフ
入力自動スキャン	有効な入力ソースを自動的に検出します。	・オン ・オフ
USB-C 構成	USB-C™ ポートを介して入力ビデオのリフレッシュレートを設定します。USB-C™ テクノロジーの制限により、USB の転送速度は状況に応じて変わります。	
	USB 3.2 リフレッシュレート：2560 x 1440 @ 60Hz（ビデオソースに基づきます） USB 転送速度：5 Gbps	
	USB 2.0 リフレッシュレート：2560 x 1440 @ 144Hz USB 転送速度：480 Mbps	
USB-C 復帰	電源オン充電とスタンバイ充電の両方がオンのとき、接続したデバイスからスタンバイモードのモニターを USB-C™ またはハブを介して復帰させます。	・オン ・オフ
電源オン充電	USB-C™ アップストリーム充電を継続するために、電源オン充電を無効にすると、スタンバイ充電も無効になります。	・オン ・オフ
スタンバイ充電	USB-C 復帰および電源オン充電がオンのとき、スタンバイモードで USB-C™ およびハブ充電を継続します。	・オン ・オフ
電源オフ充電	USB-C 復帰がオンのとき、電源オフモードでも USB-C™ およびハブ充電を継続します。	・オン ・オフ
ディープスリープ	ディープスリープ（省エネ）モードを有効 / 無効にします。 - 有効にすると、電源ボタンを押すことによってモニターはディープスリープモードに入り、電力消費量は少なくなります。 - 無効にすると、電源ボタンを押したときに、ディープスリープモードに入ることなくバックライトがオフになります。これにより、モニターはすばやく復帰でき、スリープモードから短時間で復元できます。	・オン ・オフ

項目	機能	範囲	
AMA	LCD パネルのグレーレベルの応答時間を短縮化します。	・プレミアム ・高 ・オフ	
FreeSync	FreeSync をオン / オフにします。 FreeSync が備わったモニターは、ゲーム中のスクリーンのティアリング、カクツキ、スタッタリングを低減します。この機能が有効のときには、モニター、グラフィックカード、HDR コンテンツの入力に対応した状態で、FreeSync と HDR 機能は有効化されています。使用可能な FreeSync の機能はコンテンツにより異なります。 FreeSync™ の性能については、 www.AMD.com へお問い合わせください。	・オン ・オフ	
DDC/CI	PC のソフトウェアからモニター設定を行うことができます。  Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニターコントロールからリモート診断を送信することができます。	・オン ・オフ	
画面モード	この機能は、ネイティブの縦横比以外の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。  入力信号によって、画面モードの中のオプションが変わります。		
	全画面	入力画像を画面に合わせて表示させます。 ネイティブの縦横比にぴったり合う画像に適しています。	
	縦横比	入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。	
Overscan	入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。  入力ソースが HDMI の場合にのみ使用できます。	・オン ・オフ	
RGB PC 範囲	カラスケールの範囲を決定します。接続した HDMI デバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。	・自動検出 ・RGB (0~255) ・RGB (16~235)	

項目	機能	範囲
解像度についての注意	モニターが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。	・オン ・オフ
情報	モニターのプロパティ設定を表示します。	・現在の解像度 ・最適解像度 (モニターに最適です) ・HDR ・モデル名 ・ファームウェアバージョン
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	・はい ・いいえ

トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

イメージング

- ? 画像がぼやける。
- ✓ ・ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ・VGA 延長ケーブルを使用しているときには、テスト用に延長ケーブルを外してください。画像の焦点が合っていることを確認してください。ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、最適な画像になるようにステップに従って調整してください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。
- ? ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合：
- ✓ ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。ネイティブ解像度を選択します。
- ? ピクセル エラーが表示される。
- 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合。
- ✓ ・LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- ・電源のオン / オフを切り替え。
- ・モニターの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
- ? 画像が不自然な色で表示される。
- ✓ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。
カラー設定、色のリセットを選択した後、**はい**を選択して色を初期値に戻します。
それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
- ? 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。
- ✓ ウェブサイトから **Resolution (解像度)** ファイルをダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

- ? モニターは最高解像度に設定されていますが、画像がまだ歪んでいる：
- ✓ 異なる入力ソースの画像は、モニターの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力信号を最高の状態で表示するには、**画面モード機能**を使って入力信号に合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、[52 ページの「画面モード」](#)を参照してください。
- ? 画像が片側に寄ってしまう。
- ✓ ウェブサイトから **Resolution（解像度）** ファイルをダウンロードします（[3 ページの「製品サポート」](#)を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ? スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがある：
- ✓ ・省電力機能を有効にして、コンピュータとモニターを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
・画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

LED インジケータ

- ? 電源 LED インジケータは白かオレンジ色です。
- ✓ ・LED が白く点灯しているときには、モニターの電源が入っています。
・LED が白く点灯し、画面に**範囲外です**というメッセージが表示されている場合は、モニターがサポートしていない画面モードを使用しています。モニターがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。ウェブサイトから **Resolution（解像度）** ファイルをダウンロードします（[3 ページの「製品サポート」](#)を参照してください）。「**スクリーン解像度の調整**」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。
・LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
・LED がオフであれば、電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

OSD コントロール

- ? OSD コントロールにアクセスできません。
- ✓ ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 5 秒間押し続けてください。

OSD メッセージ

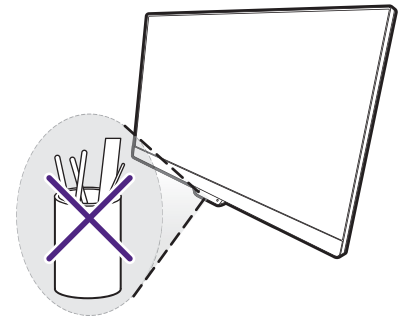
- ? コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される。
- ✓ コンピュータがブートアップする間、「**範囲外です**」というメッセージが表示される場合は、オペレーティングシステムまたはグラフィックカードがコンピュータと互換性の問題があることを意味しています。システムが自動的にリフレッシュレートを調整します。オペレーティングシステムが起動するまでお待ちください。

オーディオ

- ? 内蔵スピーカーから音が出ない。
- ✓
 - ・オーディオ信号を入力するためのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。詳細は、[24 ページの「ヘッドフォンを接続します。」](#)を参照してください。
 - ・音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
 - ・ヘッドフォンや外付けスピーカーを外してください。（それらがモニターに接続されている場合は、内蔵スピーカーは自動的に無音になります。）
- ? 内蔵スピーカーからの音が小さい、または不明瞭です。
- ✓
 - ・音量を上げてください（音量が小さすぎる可能性があります）。
 - ・内蔵スピーカーのノイズフィルター機能が無効になっていることを確認する。この機能は、音楽や動画の再生にはおすすめてできません。ノイズフィルター機能を無効にするには、ノイズフィルタースピーカーキーを押して、ホットキーメニューから**オフ**を選択します。
- ? 外付けスピーカーから音が出ない。
- ✓
 - ・ヘッドフォンを外してください（モニターにヘッドフォンが接続されている場合）。
 - ・ヘッドフォンジャックが正しく接続されていることを確認してください。
 - ・外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
 - ・外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
- ? 内蔵マイクロフォンは、モニターが PC に接続されているときには応答しません。
- ✓
 - ・（USB-C™ 搭載モデル）信号通信と給電機能を持つ公式の USB-C™ ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - ・MIC の音量は**オーディオ**メニューから上げます。詳細は、[46 ページの「オーディオメニュー」](#)を参照してください。

センサー

- ❓ モニターのライトセンサーが正常に機能しません。
- ✓ ライトセンサーはモニターの正面下にあります。次のことを確認してください：
 - ・センサー保護ステッカーを外してある場合。
 - ・Visual Optimizer (V.O.) 機能が**オン**に設定されている場合は、**Eye Care > Visual Optimizer (V.O.)**を確認してください。
 - ・センサーが照明を正確に検出するのを妨げる物体がモニターの前にないかどうか。
 - ・センサーの前に明るい色の物体または服がないかどうか。明るい色（特に白と蛍光色）は明かりを反射するため、センサーが主要な光源を検出できません。



USB-C™ 接続（USB-C™ 搭載モデル）

- ❓ USB-C™ 接続ではラップトップから音声も画像も出力されない。
- ✓ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
 - ・USB-C™ ケーブルがモニターとラップトップに正しく接続されているか確認してください。詳細は、[23 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」](#)を参照してください。
 - ・入力映像が**入力**で **USB-C** に選択されていることを確認してください。

夜間プロテクション

- ❓ 夜間プロテクションがクイックメニューでグレイ表示される
- ✓ クイックメニューの**夜間プロテクション**の設定は、(1) 機能が**オフ**に設定されている場合か、(2) **自動切換**に設定されており、明るい環境においてアクティベートされていない場合はグレイ表示されます。
 - ・この機能が**オフ**に設定されている場合は、**メニュー > Eye Care > 夜間プロテクション > 切り替え**を選択して、この機能を**オン**に設定してください。
 - ・レベルを直接調整するには、**メニュー > Eye Care > 夜間プロテクション > レベル**を選択します。調整内容は、現在のカラーモードで保存されます。

それでも解決できないときは

本書を確認して後も問題を解決できない場合は、購入された販売店にお問合せになるか、support@benq.jp をご覧になりサポートとカスタマーサービスをご確認の上、お問合せください。